

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年	3年
教科等名		音楽		グループ名	学年
ねらい		・歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現において、自分たちの思いや意図を工夫して表現することができる。 ・鑑賞を通して、リズムや強弱、拍子の違い、音階の響き等を感じ取り、演奏の仕方や踊りの仕方を変える。 ・友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。			
担当教員		○大内 彩加 海老水 皓翔 細谷 慶明 小山 佳子 三富 武 原口 稔 安藤 恵 城戸 賀代			
年間授業時数		70.7			
使用教科書		東京書籍 「音楽☆☆☆☆」「音楽☆☆☆☆」			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	音楽の決まり	○	・音符や休符の決まり ・記号と拍子(ト音記号、繰り返し記号、4拍子) ・音の強弱	・ト音記号や拍子の読み方や数え方が分かる。 ・音階や和音を聴いて、響きの違いを感じ取り、表現することができる。 ・強弱による楽曲の変化を味わい、感じたことを表現することができる。	・タブレットで音楽記号を調べる。 ・強弱や音色の変化が大きい曲を使用する。 ・曲のイメージをイラストで複数提示する。
4	情景を思い浮かべて歌おう		・歌唱:花 ・身体表現:「Hokey Pokey」	・歌詞やリズム、音の高さを意識し歌う技能を身に付けることができる。 ・音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をする技能を身に付ける。	・イラストを使用して、歌詞の意味を確認する。 ・表現について発問する時に、友達のよい所について2～3つの選択肢を示す。
5 6	日本の歌を歌おう 郷土の音楽を奏でよう		・歌唱:おぼろ月夜(共) ・器楽:さくらさくら(箏)	・曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりを理解して歌唱できる。 ・多様な楽器の音色と全体の響きとの関わりを理解して楽器を奏でることができる。	・タブレット端末で奏法を調べ、確認する。 ・音色の違いが分かりやすい楽器を使用する。
6 7	郷土の音楽を知ろう		・歌唱:島人ぬ宝 ・身体表現:島人ぬ宝 ・鑑賞(沖縄の民謡)	・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどを見出して聴くことができる。	・タブレット端末で奏法を調べ、確認する。 ・授業の終わりに発表する時間を設ける。
9 10 11	いろいろな表現を知ろう 旋律をつくろう 学習発表会の練習		・歌唱:もみじ(共) ・音楽づくり:言葉のアンサンブル ・舞台発表の練習	・曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付いて歌唱表現することができる。 ・いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴を理解して表現を工夫する。	・表現について発問し、生徒の主体性を引き出す。 ・リズムや旋律の特徴を表す言葉を複数示す。
12	世界の音楽を楽しもう 外国語の音楽を楽しもう		・器楽:シング・シング・シング ・鑑賞:「世界の音楽」(ジャズ、ゴスペル、シャンソン)	・打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して、音色や響きに気を付けて演奏できる。 ・曲や演奏の良さを見出して鑑賞することができる。	・映像で表現方法を示す。 ・強弱やスタッカートの付くところを音符や言葉で示す。
1 2	抑揚をつけて表現しよう		・歌唱:いのちの歌、花は咲く ・器楽:喜びの歌	・曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付いて歌唱表現することができる。 ・打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して、音色や響きに気を付けて演奏できる。	・長音階、短音階、五音音階等を聴き比べ、響きの違いを感じ取りやすくする。 ・伴奏で拍子を明確に示したり、強弱を大袈裟につけたりする。
3	1年のまとめ		・歌唱:君が代、校歌 ・鑑賞:喜びと悲しみ(長調ト短調)	・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどを見出して聴くことができる。	・お互いのよい所を評価しあう時間を設ける。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。